

令和6年度

社会福祉法人 下妻市社会福祉協議会 事業報告

令和6年度も物価の高騰が続き、燃料代や生活必需品の価格上昇が家計を圧迫し、低所得世帯や生活に困窮する世帯の多くの人々の生活は依然として厳しい状況が続いているため、今年度も対象となる世帯への支援を重点的に行いました。

近年の自然災害については、地震や気候変動による災害の規模や頻度が増加しているため、災害への意識を高めるための取り組みとして、災害発生時に使用する蓄電池や非常用トイレの配布を行いました。また、様々な社会の変化により地域社会のつながりや地域に対する関心の希薄化が問題になっているため、地域活動への参加を促す取り組みなど、各種事業を実施しました。

なお、シルピアで実施している介護保険事業及びひばりので実施している障害者自立支援等事業については、コロナ禍以降利用者増が見込めず、大幅な減収となりました。

【重点目標に対する経過報告】

1. 地域福祉活動計画の策定

誰もが住みなれた地域で安心して暮らしていくためには、地域住民や社会福祉関係者がお互いに協力し地域にある課題を解決していく取り組みが重要です。

このため、住民一人ひとりが自分の地域について考え、みんなで住みよい地域づくりを行っていくための行動計画「下妻市地域福祉活動計画」を策定しました。

策定にあたっては、広く地域住民の意見を反映させるため、地域や福祉に関係する団体等から策定委員を選出すると共にアンケート調査やヒアリング調査に協力をいただきました。

2. 生活に困窮する世帯への支援

- ・居住支援や食料支援、生活費の貸付や就労支援など、個々の困りごとに寄り添い関係機関と連携し世帯の自立に向けた支援を行いました。
- ・新型コロナウイルスの影響で収入が減少し、特例貸付を利用した世帯の生活状況を聞き取り、必要な支援につなげたほか食料品、生活用品等を配布しました。
- ・物価高騰により経済的負担が増えている子育て世帯の生活を応援するため、夏休みと冬休みに食糧品等を配布しました。

【法人運営・管理】

1. 総務部門

(1) 理事会・評議員会等の開催

① 理事会

回数	開 催	会 場	議 事
1	令和6年 6月17日	下妻市役所	・ 令和6年度会計収入支出補正予算（第1号）（案）について ・ 令和5年度事業報告について

			・令和5年度会計収入支出決算について ・監事の監査報告について ・評議員候補者の推薦について ・下妻社協ケアセンター訪問介護事業・介護予防訪問介護相当サービス事業運営規程の一部改正について ・下妻社協ケアセンター地域密着型通所介護事業・介護予防通所介護相当サービス事業運営規程の一部改正について ・下妻社協ケアセンター居宅介護支援事業運営規程の一部改正について ・下妻社協ケアセンター生活介護事業運営規程の一部改正について ・下妻社協ケアセンター指定居宅介護等事業運営規程の一部改正について ・下妻市心身障害者福祉センターひばりの生活介護事業運営規程の一部改正について ・定時評議員会の招集について ・会長及び常務理事の職務執行状況について
2	令和7年 3月13日	下妻市役所	・専決処分の報告について「介護保険法及び障害者総合支援法に基づき実施する事業の運営規程の一部改正について」 ・会長及び常務理事の職務執行状況について ・下妻市地域福祉活動計画について ・令和6年度会計収入支出補正予算（第2号）（案）について ・下妻市心身障害者福祉センターひばりの生活介護事業運営規程の一部改正について ・下妻市心身障害者福祉センターひばりの指定地域移行支援事業運営規程の廃止について ・令和7年度事業計画（案）について ・令和7年度会計収入支出予算（案）について ・役員等賠償責任保険契約の締結について ・評議員会の招集について

②評議員会

回数	開 催	会 場	議 事
1	令和6年 6月28日	下妻市役所	・令和5年度事業報告について ・令和5年度会計収入支出決算について ・令和6年度会計収入支出補正予算（第1号）（案）について ・下妻社協ケアセンター訪問介護事業・介護予防訪問介護相当サービス事業運営規程の一部改正について ・下妻社協ケアセンター地域密着型通所介護事業・介護予防通所介護相当サービス事業運営規程の一部改正について ・下妻社協ケアセンター居宅介護支援事業運営規程の一部改正について

			・下妻社協ケアセンター生活介護事業運営規程の一部改正について ・下妻社協ケアセンター指定居宅介護等事業運営規程の一部改正について ・下妻市中心身障害者福祉センターひばりの生活介護事業運営規程の一部改正について
2	令和7年 3月18日	下妻市役所	・専決処分の報告について「介護保険法及び障害者総合支援法に基づき実施する事業の運営規程の一部改正について」 ・下妻市地域福祉活動計画について ・令和6年度会計収入支出補正予算（第2号）（案）について ・下妻市中心身障害者福祉センターひばりの生活介護事業運営規程の一部改正について ・下妻市中心身障害者福祉センターひばりの指定地域移行支援事業運営規程の廃止について ・令和7年度事業計画（案）について ・令和7年度会計収入支出予算（案）について

③評議員選任・解任委員会

回数	開催	会場	議 事
1	令和6年 6月18日	下妻市役所	・評議員の選任について

(2) 苦情解決体制の強化

施設内へのポスター掲示により、利用者への制度の周知を図りました。

事業所名	苦情件数	対応中件数	解決件数	未解決件数
砂沼荘	○ 件	○ 件	○ 件	○ 件
社協ケアセンター	○ 件	○ 件	○ 件	○ 件
ひばりの	○ 件	○ 件	○ 件	○ 件
事務局	○ 件	○ 件	○ 件	○ 件

(3) 広報・啓発活動

①広報紙「ふくしものがたり」の発行

市内福祉情報の発信を目的に、広報紙「ふくしものがたり」を年 4 回発行しました。また紙面の構成や掲載写真等を工夫し、わかりやすく関心を持っていただける紙面づくりに努めました。

内 容	発 行	配布先
社協広報紙「ふくしものがたり」	年4回（282号～285号）	市内全戸



社協広報紙「ふくしものがたり」

②ホームページ

ホームページを活用し下妻市社協の実施事業や地域福祉に関する情報、災害時の義援金など市民に向けて情報発信に努めました。



社協ホームページ

③その他の広報

誰もが情報を得やすい発信方法としてXやLINEなどのSNSを活用し、下妻市の地域福祉に関する様々な情報を随時発信しました。



社協X

(4) 会員増強運動の実施

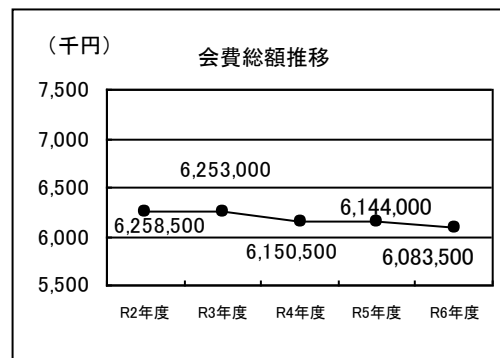
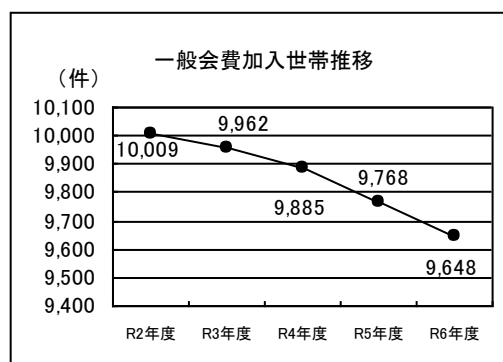
会費を財源とする事務事業を明確にした予算編成、執行管理を行いました。

<説明会等の開催>

種類	開催	会場	内容	対象者
一般会費	郵送にて各自治会に依頼	下妻公民館	取りまとめ依頼	支部推進員
特別会費			取扱説明	支部代表者

<加入実績>

種類	会員数	会費額	対目標額
一般会費	9,648世帯	4,824,500円	98.3%
特別会費	235件	1,259,000円	105.5%
計	—	6,083,500円	99.7%



(5) 全国社会福祉大会・茨城県社会福祉大会における表彰

地域福祉の進展に資するため、市内福祉事業に功労のあった方や団体等に対し、中央共同募金会会長、茨城県知事、茨城県社会福祉協議会会長及び茨城県共同募金会会長より表彰が行われました。

<令和6年度全国社会福祉大会における受賞者数>

区分	人数
中央共同募金会会長表彰	個人 2名

<第74回茨城県社会福祉大会における受賞者数>

区分	人数
茨城県知事表彰	個人 7名 3団体
茨城県社会福祉協議会会長表彰	個人 9名
茨城県共同募金会会長表彰	個人 1名

2. 労務管理部門

(1) 職員研修の実施

社協の自主研修の他、下妻市役所、全国・茨城県社会福祉協議会等主催の研修会に参加しました。

研 修 内 容
下妻市災害ボランティアセンター運営訓練（いばらき型災害VC運営支援システム操作研修）、「災害初動期対応チーム」ステップアップ研修、茨城県内社会福祉協議会職員新任・初級研修、同和問題・人権問題基礎講座 ほか

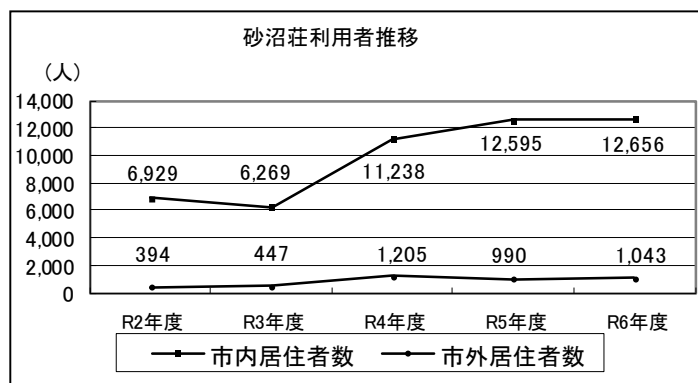
(2) ストレスチェックの実施

メンタルヘルス不調を未然に防止することを目的に、全職員を対象にストレスチェックを実施しました。（55 人実施）

3. 指定管理者制度に基づく施設の管理・運営

①福祉センター「砂沼荘」

区 分	利用者数
市内居住者	12,656 名
市外居住者	1,043 名
計	13,699 名



子供から高齢者まで利用できる健康増進施設として、下記の講座を開催しました。

講座名	開催日	延べ参加人数
親子リトミック	毎月 第 1 火曜日	62 組 132 名
健康体操教室	毎月 第 1・第 2・第 3 水曜日 第 2・第 3・第 4 火曜日	2,014 名
シルバーリハビリ体操教室	毎月 第 3 火曜日	179 名
スクエアステップ教室	毎月 第 2・第 4 火曜日 第 2・第 4 水曜日	924 名
脳（のう）活（い）きいき教室	毎月 第 1 火曜日 第 1 水曜日	415 名
男性のための筋トレ	毎月 第 3 水曜日	183 名
健康&美活・ヨガ教室	毎月 第 4 水曜日	278 名
	計	4,125 名

②下妻市福祉センター「シルピア」 ③下妻市心身障害者福祉センター「ひばりの」

福祉センターとして、市民や団体の利用はありませんでした。

4. 災害・緊急支援事業

<火災見舞金>

件 数	金 額
1件	30,000円

<行路人旅費>

件 数	金 額	償 還
7件	3,500円	500円

5. 共同募金関係

(1) 共同募金運動への協力

社協が自主的に行う事業の重要な財源となっている赤い羽根共同募金運動は、茨城県共同募金会との申し合わせ事項に基づき、下妻市共同募金委員会の業務として全面的に協力し事業を展開しました。



【地域福祉事業】

1. 相談支援・権利擁護部門

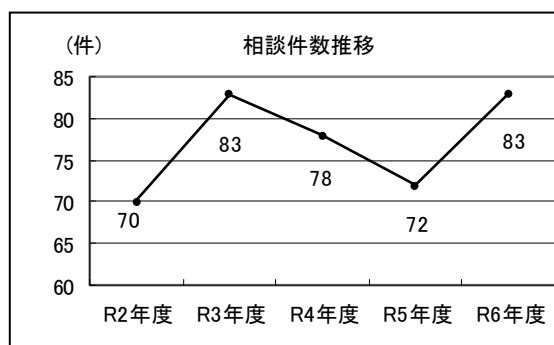
(1) 心配ごと相談事業（市受託事業）

法律相談を毎月3回開催しました。

＜実績報告＞

開催	件数
年間36回 (第2・3・4火曜)	83件

※弁護士3名・相談員8名



(2) 生活福祉資金貸付事業（県社協受託事業）

① 生活福祉資金貸付事業

- 相談者の生計維持、自立支援を目的に茨城県社会福祉協議会と連携、指導を仰ぎながら延べ65件の相談に応じました。新規の貸付はありませんでした。

資金種類	昨年度末	新規	完済等	本年度末	滞納
1 福祉資金					
福祉費	6	0	0	6	3
緊急小口資金	5	0	0	5	5
2 教育支援資金					
教育支援費	10	0	0	10	4
就学支度費	11	0	0	11	3
3 総合支援資金					
生活支援費	20	0	0	20	18
住宅入居費	0	0	0	0	0
一時生活再建費	1	0	0	1	0
4 不動産担保型生活資金					
一般世帯向け	1	0	0	1	0
要保護世帯向け	1	0	0	1	0
5 臨時特例つなぎ資金					
臨時特例つなぎ資金	0	0	0	0	0
計（件）	55	0	0	55	33

②新型コロナウイルス生活福祉資金特例貸付（県社協受託事業）

- ・電話や窓口での相談により借受人の生活状況を聞き取り、償還免除や猶予、少額返済の案内や食料支援など、個々の状況に合わせて必要な支援につなげました。
- ・借受人 788 世帯にフォローアップ支援の案内を発送し、相談のあった 102 世帯に償還免除や猶予等の案内、食料支援、生活用品の配布等を行いました。

<フォローアップ支援実績>

借受人の状況	窓口	架電	受電	訪問	合計
償還免除・承認	15 名	69 名	3 名	3 名	90 名
償還免除・不承認	109 名	81 名	8 名	0 名	198 名
償還免除・未応答	28 名	353 名	0 名	0 名	381 名
合計（件）	152 名	503 名	11 名	3 名	669 名

<フォローアップ支援 対応状況>

支援内容	件数	支援内容	件数
自立相談支援機関へのつなぎ	67 名	小口資金貸付	4 名
償還猶予案内・申請	113 名	食料支援	17 名
償還免除案内・申請	47 名	不通、不在	348 名
少額返済案内	3 名	その他	70 名

(3)小口資金貸付事業

- ・償還に遅れのある 47 世帯に通知文の発送や電話による生活状況の聞き取りをし、少額返済の相談や必要なサービスへのつなぎ等を行いました。
- ・昨年度と比べ貸付は 9 件 46,000 円の減、償還は 62 件 184,000 円の増、完済件数は 8 件増となりました。

内 容	件 数	金 額	完済件数
貸 付	51 件	1,292,000 円	42 件
償 還	157 件	1,145,000 円	

※R7.3.31 現在 未償還金額 5,593,911 円（滞納分含む）

(4)日常生活自立支援事業（県社協受託事業）

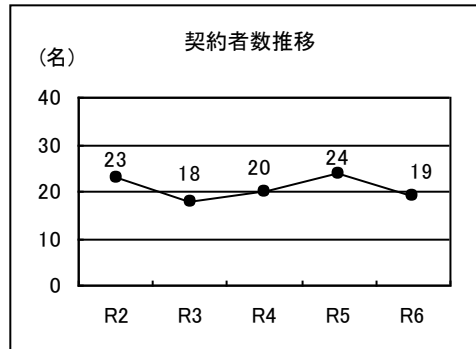
- ・24 件の相談のうち 3 件が新規契約となり、専門員 3 名・生活支援員 8 名が延べ 325 回の支援を行いました。（専門員 1 名増）
- ・各種研修会等へ参加し専門員・生活支援員の援助技術や専門性の向上を図りました。
- ・ホームページ・広報紙を活用し、本事業への理解と利用促進を図りました。また 12 月 22 日に実施した後見制度に関する研修会でパンフレットを配布しました。

<研修会・会議への参加>

開催日	内 容
8.6(火)	新任専門員研修会（社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会）
12.9(月)	専門員会議・研修（社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会）
R7.1.29(水)	生活支援員研修（社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会）
R7.3.17(月)	利用料変更に関する説明会（社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会）

＜契約状況＞

ケース	前年度末	新規 契約	解約	本年度末
認知症高齢者	14名	2名	5名	11名
知的障害者	5名	0名	1名	4名
精神障害者	5名	1名	2名	4名
計	24名	3名	8名	19名



＜契約者居所＞

居 所	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	計
在 宅	9名	4名	3名	16名
施 設	2名	0名	0名	2名
病 院	0名	0名	1名	1名
グループホーム	0名	0名	0名	0名
計	11名	4名	4名	19名
生活保護受給者(再掲)	(8名)	(0名)	(2名)	(10名)
書類預かり(再掲)	(0件)	(1件)	(1件)	(2件)

(5) 成年後見制度事業

- ・ホームページや広報紙を活用し事業の周知を行ったほか、市内居宅介護支援事業所（15ヶ所）へのパンフレット配布や敬老福祉大会において広報周知活動を行いました。
- ・研修会や意見交換会に参加し、担当職員の知識向上に取り組みました。（延7回）
- ・法人後見事業に関する視察の受入れを2件行いました。
- ・中核機関による成年後見制度関係者向け研修会及び市民向け研修会を開催し、制度の利用促進を図りました。
- ・茨城県社会福祉協議会より講師依頼を受け、成年後見制度利用促進に係わる意見交換会にて受任調整についての説明を行いました。

＜受任状況＞

類型	新規 受任	終了	本年度末
後見	0名	1名	0名
保佐	0名	0名	0名
補助	0名	0名	0名
計	0名	1名	0名

＜会議開催状況＞

項目	回数
受任審査会議※	1回
受任調整会議※	1回
権利擁護支援 チーム会議	2回
計	4回

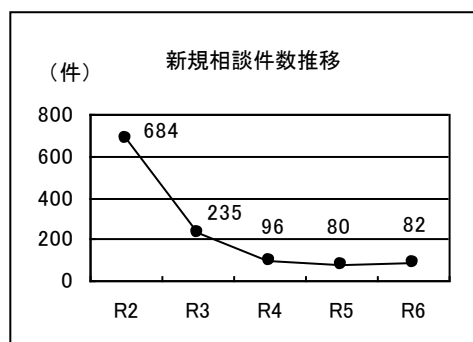
※同日開催

(6)生活困窮者自立支援事業（市受託事業）

- ・困りごとや不安を抱える方の相談をお聞きし、どのような支援が必要かを一緒に考え、就労や住まい、家計、食料支援等、個々の状況に合わせて寄り添いながら必要な支援を行いました。

<相談支援実績>

内 容	実件数	延件数
自立相談支援事業	82 件	461 件
生活困窮者自立支援法に基づくサービス等利用		
住居確保給付金	3 件	3 件
就労準備支援事業	0 件	0 件
家計改善支援事業	15 件	97 件
一時生活支援事業	8 件	70 件



(7)学習支援事業（市受託事業）

①寺子屋

- ・通常開催の他、8月の夏休み期間中に高校生や大学生に協力いただき、宿題お助け隊として週3回実施しました。
- ・ボードゲームなどを活用し、学区の異なる小学生や中学生との交流を図りました。

内 容	実人数	延人数
利用者	26 名	186 名
ボランティア	14 名	81 名

開催回数
46 回

②にここ学習塾

- ・市内在住の生活保護世帯、就学援助費受給世帯の中学1年生から3年生を対象に受験や定期テストに向けた学習支援を行いました。
- ・申込のあった9人（1～3年生含む）のうち継続して利用した3年生2名が志望校に合格しました。
- ・共同募金の財源を活用し、持ち帰りのできる飲み物やパンなどの軽食を配布しました。
- ・株式会社ダイナム様より県立高校入試の過去問を寄付いただき、受験生へ配布しました。

内 容	実人数	延人数
利用者	9 名	74 名
ボランティア	18 名	78 名

開催回数
43 回

(8)無料職業紹介事業

- ・社協広報誌への掲載や社協特別会費の協賛事業所 224 ヶ所に求人登録の依頼をするなど、事業の周知、求人情報の収集に努めました。

求人				求職		就職		
有効 求人数	求人数			有効求 職者数	新規 申込	常用	臨時	日雇
	常用	臨時	日雇					
9名	12名	0名	0名	0名	3名	3名	0名	0名

(9) 緊急生活援助事業

実績はありませんでした。

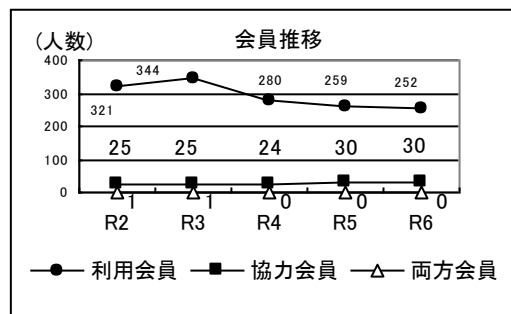
2. 地域福祉活動推進部門

(1) ファミリーサポートセンター事業（うえるきっず含む）市受託事業

- ・ 広報紙や研修会等において、事業の周知と会員の増員に努めました。
- ・ 学校や学童クラブへの迎えや預かりなど、保護者のニーズに対応しました。
- ・ 交流会や研修会を開催し、協力会員の活動しやすい環境を整えました。

<会員状況>

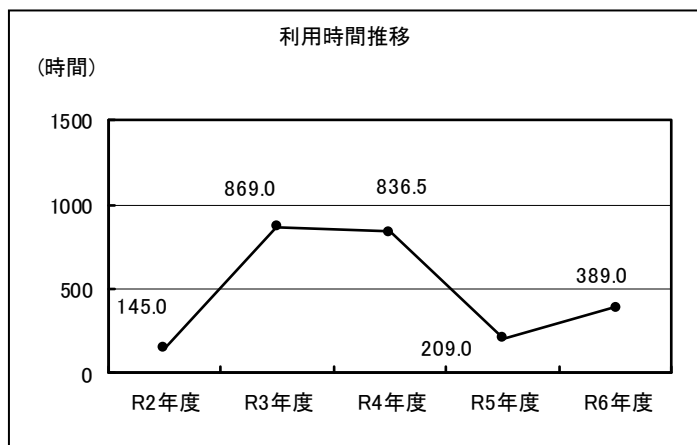
会 員	前年度末	増	減	本年度末
利用会員	259名	23	30	252名
協力会員	30名	1	1	30名
両方会員	0名	0	0	0名
計	289名	24	31	282名



<ファミサポ：利用実績>

	利用時間
時間内	384.5 時間
時間外	5.0 時間
割増	0 時間
計	389.0 時間

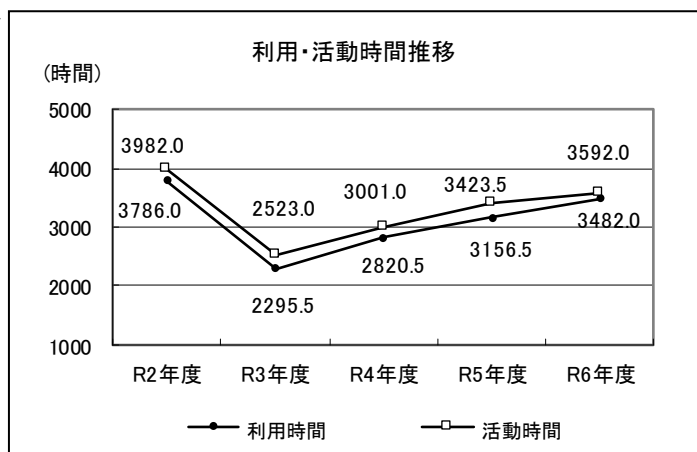
※利用会員宅又は協力会員宅でのお預りのサービス



<うえるきっず：利用・活動実績>

内容	利用時間
利用時間	3482.0 時間
活動時間	3592.0 時間

※託児室（下妻公民館 1 階）でのお預りサービス



<利用内容及び件数：ファミサポ・うえるきっず合算>

内 容	件 数
保育園・幼稚園の登園前の預かり及び送り	10 件
学童の迎え及び預かり	68 件
放課後学童クラブからの児童の迎え及び預かり	101 件
学校休みの時の預かり（夏休み・土日など）	144 件
協力会員自宅預かり後うえるきっずでの預かり	4 件
保育園入所前の援助	106 件
保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	234 件
他の子供の学校行事の場合の援助	53 件
保護者等の買い物等外出の場合の援助	49 件
保護者の病気等	36 件
合 計	805 件

<協力会員定例会>

開 催	内 容	会 場	参 加
4/23	共通理解と意見交換	託児室（うえるきっず）	11 名
3/11	共通理解と意見交換	下妻公民館	11 名

<協力会員研修会および交流会> *あおぞらサービスと合同開催*

開 催	内 容	会 場	参 加
5/28	障がいのある子に対する接し方	託児室（うえるきっず）	12 名
6/11	協力会員交流会	さいたま市造幣局	27 名
9/17	救命救急講習	下妻公民館	15 名
12/10	感染症予防講座	下妻公民館	15 名



ファミサポ通信



あおぞら・ファミサポ協力会員交流会

(2) 地域子育て支援事業

- ・子育て支援課や学校など関係機関と連携し、子育て世帯の支援に努めました。また、必要とする世帯に対し、食糧支援や制服譲渡などを行いました。
- ・市内の子育てに関連する団体と協働による防災イベント「防災ハロウィン2024」をイオンモール下妻にて開催しました。今回は、企業×市民×行政機関と連携し、茨城西南広域消防フェアと合同で開催したため多くの方に来場いただきました。
(来場者数1045名・ステージ協力44名・スタッフ148名)

<防災イベントおよび講座>

開 催	内 容	会 場	参 加
10/5	防災イベント わくわくみんなの防災ハロウィン 2024	イオンモール下妻	1,237 名
3/14	講座：親子でたのしくリズム遊び	砂沼荘	親子7組



協力団体のみなさん～防災ハロウィン～



親子でたのしくリズム遊び

<生活応援セットの配布>

- ・物価高騰により経済的負担が増えている子育て世帯の生活を応援するため、夏休みと冬休みに食糧品等を配布しました。市内の企業や関係団体からの寄付物品をボランティアの方々に準備・配布の協力をいただき実施しました。

開催日	対象者	配布件数	協力企業・団体	主な配布物
8/2 (金) 8/3 (土)	要保護 準要保護世帯 児童扶養手当受給世帯	135 世帯	8企業 2団体	米 食糧品等の詰め合わせ
12/24 (火)	要保護 準要保護世帯 児童扶養手当受給世帯	139 世帯	7企業 2団体	米 クリスマスケーキ チキンセット お菓子など



夏・配布物



冬・配布物

(3) 乳幼児発達相談事業（ポーターシ発達相談事業）一部市補助事業

・個別相談

発達に偏りや遅れのあるお子さんの保護者に対し、相談員が一人ひとりのお子さんの特性に応じた接し方を助言しました。

年度後半より定員を超えたため、予備日を設け対応しました。

・親子遊び教室「くれよん」

子どものそれぞれの発達に寄り添い、年齢、国籍、障がいの有無に関らず、違いを排除することなく共に育つことを目的として指導しました。

内 容	開催（延べ回数）	実利用者数	延べ利用者数
個別相談	月 5 回（年 58 回）	26 組 （うち新規：6 組）	162 件
親子遊び教室 くれよん	月 4 回（年 46 回）	14 組 （子 16 名 親 14 名）	子 246 名 親 233 名
親子交流会 からだを使って 親子であそぼう	令和 6 年 6 月 30 日	9 組	子 13 名 親 14 名

(4) 在宅福祉サービスセンター事業（あおぞらサービス）市受託事業

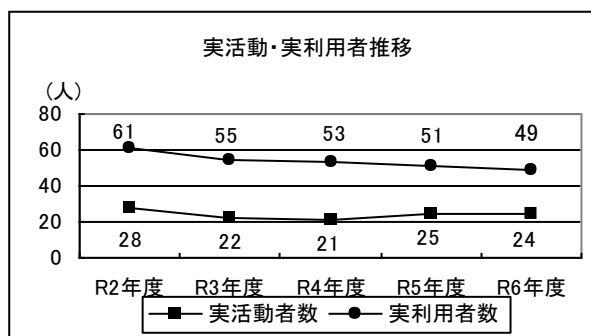
協力会員の資質向上や増員を目的として、ファミリーサポートセンター事業と合同で研修会および交流会を実施しました。また、新規会員登録として協力会員 3 名、利用会員 18 名が増員しました。

<研修会・交流会>【ファミリーサポートセンター事業合同開催】

開 催	内 容	参加人数
6/11	協力会員合同交流会 （さいたま市造幣局）	27名
9/17	救命救急講習	15名
12/10	感染症予防講座	15名

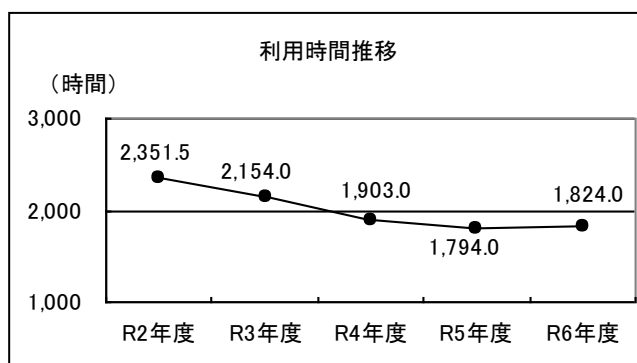
<会員状況>

利用会員	登録会員	92名
	実利用者	49名
協力会員	登録会員	73名
	実活動者	24名



<利用状況>

内 容	計
家事支援	1570.5時間
話し相手	84.5時間
通院介助	109.5時間
その他	59.5時間
合計	1824.0時間



(5)生活支援体制整備事業

- ・民生委員や自治区長、地域と連携し生活支援を必要とする対象者やニーズの把握に努めました。また、地域のサロンや集いの場などに参加し、顔の見える関係づくりに努めました。
- ・地域住民が主体的に活動できるよう、サロンの立上げやささえあい活動の創出を支援しました。
- ・生活支援を必要とする高齢者に対し、ささえあい活動や福祉サービス等を繋ぎ支援しました。

<協議体の設置及び運営>

- ・第1層協議体（地域ケア会議兼）

第2層協議体での活動を報告しました

年2回開催（第1回：10/31開催 第2回：2/6開催）

- ・第2層協議体

既存の協議体を引継ぎ、地域住民が主体的に運営できるよう努めました。

地 区	開催場所	開催日	開催回数	参加者
下妻地区協議体	福祉センター砂沼荘	第3(水) 13:30～	12回	101人
東部地区協議体	市役所会議室	第2(月) 13:30～	12回	123人
千代川地区協議体	千代川公民館	第4(火) 9:30～	12回	105人

< 研修・講演会 >

新たな担い手の養成と住民同士の支え合い活動の推進を図るため開催しました

開催日	研修名	内容	参加者
11/27 (水)	地域コミュニティ推進のつどい 主催：茨城県社会福祉協議会	対象：協議体（3地区×2名） 会場：ホテルレイクビュー水戸	6名
2/1 (土)	地域づくり講演会（兼） つながる喜び・つなげる喜び ご近所福祉クリエイター 酒井 保	対象：一般・協議体 会場：下妻市立図書館	106名



地域コミュニティ推進のつどい



令和6年度地域づくり講演会

< 広報・啓発 >

- ・事業に関することや地域の活動、社会資源等を紹介し、事業の周知と啓発を図りました。
- ・社協広報誌「ふくしものがたり」（全戸配布 年4回発行）8月号より新たに「しもつまコミュニティ」のページ（A4・2P）を増やし掲載しました。
- ・訪問した地域の社会資源や地域活動等を「お宝」と題し、社協HPへ随時掲載し紹介しました。

(6) ささえあい推進事業

- ・活動内容の提案や拠点施設の予約申請などサロン活動を支援しました。
- ・地域ささえあい活動や地域貢献活動を考える市民や企業に対し、活動内容の相談やつなぎ役としての支援を行いました。
- ・各地域で取組んでいるサロンやささえあい活動、集いの場をパンフレットやSNSを通して市内に周知・紹介をしました。
- ・ひとり暮らし高齢者の方の見守りの一環として、心のふれあいを目的とした季節感のある絵手紙や、民生委員児童委員連絡協議会の協力のもとカレンダーをお届けしました。

＜ふれあいサロン開設状況＞ 概ね 65 歳以上の高齢者対象

サロン名称	地区	会員数	回数	延べ参加人数
小友会	小野子	15名	38回	361名
坂本サロン	坂本	9名	12回	65名
いきいきサロンさぬま	長塚	8名	20回	130名
サロン陽だまり	大宝	26名	21回	277名
比毛サロン	比毛	14名	12回	156名
食と健康のサロンin下妻	三道地	30名	41回	382名
上宿お楽しみの会	上宿	22名	11回	136名
横根スクエアステップの会	横根	18名	22回	232名
稲穂の会	平川戸	16名	23回	237名
大宝スクエアステップの会	大宝	19名	12回	195名
ふれあいサロン	下妻	10名	15回	120名
通いの場 おれんぢ会	小野子	10名	40回	222名
千代川スクエアステップの会	千代川	39名	24回	647回
いきいきサロン皆葉	皆葉	23名	24回	478名
計 (14サロン)		257名	291回	3,641名

新規 2 ヶ所 退会 0 ヶ所

＜子育てサロン開催状況＞

サロン名称	会 場	回数	延べ参加人数
子育て支援ひまわり会	リフレこかい	11回	196名
親子サークルひまわり	勤労青少年ホーム	12回	231名
計 (2サロン)		23回	427名

＜社協主催 スクエアステップ教室＞

場 所	会員数	回数	参加人数(延べ)
砂沼荘	59名	46回	924名
リフレ こかい	20名	24回	222名
計 (2か所)	79名	70回	1,146名

＜ふれあいいきいきサロン連絡会・研修＞

各サロンの代表者等と個人登録ボランティア合同の交流会を開催し、サロンでも開催できる認知症予防のための音楽ケア体操を体験してもらいました。

＜地域ささえあい活動＞

地域×企業×施設等をつなぎ、新たな活動の場や関係づくりに努めました。

地 区	団体・企業名	内 容
下妻中学校区	(株)TAIYO	下妻特別支援学校との交流・補助具の製作寄贈
東部中学校区	おせっ会	ちょっとした困りごとのサポート(生活支援)
		児童養護施設での「餅つき体験」交流会
	東部つくし会	中郷地区での会食型サロン開催



(株)TAIYO×下妻特別支援学校
オリジナル補助具を考案・作成



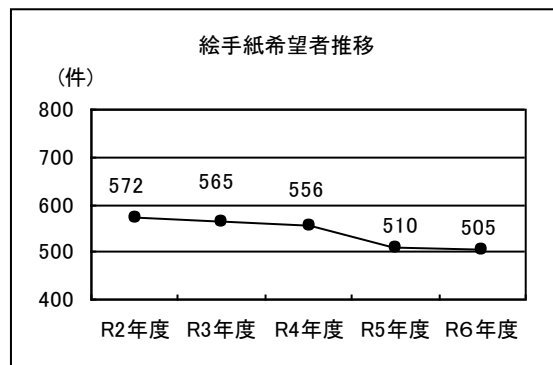
おせっ会
ちょっとした困りごとのサポート

<ふれあいお届け>

①絵手紙

実施月	件数
8月	274件
12月	231件
計	505件

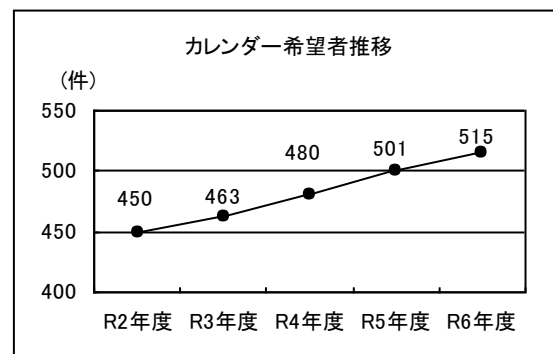
※書き損じハガキを活用
※ボランティアの協力により作成
(絵手紙教室 コスモス・さくら・すみれ
・個人ボランティア1名)



②社協オリジナルカレンダー

実施月	件数
12月	515件

※民生委員児童委員協議会にご協力を
いただき配布しました。



3. 助成事業

(1) 地域福祉助成事業

社協広報紙、チラシ、ホームページを活用し事業の周知を図りました。

① <助成実績>

時期	No.	申請事業	団体名	決定額
第1期	1	とよかみ秋の元気フェスティバル	青少年を育てる市民の会 豊加美支部	180,000 円
第2期	1	巴会設立40周年記念事業	西町町内会連合会	200,000 円
	2	発電機及び防災用品購入	上宿自治会	188,000 円
	3	集会施設の環境整備事業	田下自治会	200,000 円
	4	秋の清掃&食事会	秋の清掃&食事会実行委員会	200,000 円
計				968,000 円

② 下妻市防災ラジオ購入助成金事業

下妻市が実施した防災ラジオの頒布に際し、市民の購入負担金の軽減措置として、1台につき1,000円の助成を行いました。

助成単価	件数	総額
@1,000 円	29 件	29,000 円

(2) 地域福祉活動支援事業

住民同士が参加・協力して取り組む住み良いまちづくり事業を行う団体並びに当事者団体活動の支援を目的に助成金を配分しました。

<助成実績>

No.	申請事業	決定額
1	総上納涼盆踊り&屋台村	100,000 円
2	とばのえ子ども夏まつり事業	100,000 円
3	心身障害児者父母の会レクリエーション事業	71,000 円
4	かみつま朝市開催事業	100,000 円
計		371,000 円

(3) 活動助成事業

地域の特色を活かした福祉活動の取り組みを推進していくため、各支部及び下記の各団体に助成金を配分しました。

<団体助成金>

助成先	件数	金額
支部社協	8件	1,763,000円
自治区長連合会	1件	313,400円
民生委員児童委員協議会	1件	246,000円
合 計	10件	2,365,180円

(4) 地域災害対策物品助成事業

災害発生時の停電や断水による電源、トイレ問題を一時的に解決するため、公民館等を有する自治会や自主防災組織から申請のあった 55 地区のうち、抽選の結果 25 地区に蓄電池、非常用トイレ及びトイレ用テント、凝固剤を現物で供与しました。

区分	申請数	当選数
下妻中学校区	21 件	8 件
東部中学校区	20 件	12 件
千代川中学校区	14 件	5 件
合 計	55 件	25 件



凝固剤

蓄電池



テント 非常用トイレ

【ボランティアセンター事業】

1. ボランティア活動事業

(1) 相談・登録・広報啓発

① ボランティアの状況

種 別	団体数	会員数
登 録	個人	— 61 名
	団体	16 団体 347 名
把握（届出）団体	13 団体	1037 名
計	29 体	1,445 名

② ボランティアの相談・登録・紹

内 容	件 数
ボランティア活動希望	10 件
ボランティア活動依頼	10 件
福祉教育支援・他	43 件
活動者相談・情報提供	19 件
保険・物品・その他	5 件

③ ボランティアセンターの広報・啓発

- ・ノベルティグッズの作成や広報紙等を通じ、ボランティアセンターをPRしました。
- ・学校での福祉教育やイベントの場において災害ボランティアセンターをPRしました。

開催日	内 容	対 象	参加
8/10	東京消防庁本所防災館 防災体験ツアー 災害 VC PR	小学生親子	15 世帯
10/5	わくわくみんなの防災ハロウィン 災害 VC PR	一般	1,237 名
11/24	下妻市総合防災訓練（東部地区） 災害 VCPR	一般	108 世帯

（VC：ボランティアセンター）



ボランティアセンター事業ノベルティ

保存食 缶入りパン
（左：チョコチップ、右：プレーン）

(2) ボランティア活動助成事業

＜ボランティア活動助成＞

申請者	助成件数	助成額
サークル	8団体	240,000円
ボ連協	1団体	50,000円
学 校	12校	401,000円
計	21件	691,000円

※ボ連協：下妻ボランティア連絡協議会
（9 サークル加入）

＜ボランティア保険加入状況＞

種 別	加入者数	助成額
登録団体・個人	302 名	60,400 円
把握団体・個人等	997 名	—
災害ボランティア 個人	11 名	—
計	1,310 名	60,400 円

(3) ボランティア養成事業

- ・共に生きる力を育む福祉教育の一環として、小学生親子を対象とした外出型の福祉教育や刃物研ぎボランティアの養成講座を開催し、地域のために活動するボランティアを知るきっかけづくりや育成に努めました。
- ・下妻ボランティア連絡協議会の事業として、砂沼遊歩道の環境美化活動と会員同士の交流を目的に「砂沼を歩こう会」を開催しました。また、市内で個々に活動をしているボランティアといきいきサロン世話人を対象とし、情報交換の場として合同交流会を開催しました。

<福祉教育・ボランティア養成講座>

開催日	講 座 名	場 所	対 象	人 数
5/17	刃物研ぎボランティア養成講座 講師：包丁研ぎ 丸い 伊藤 純雄 氏	千代川公民館	一般	10 名
8/10	東京消防庁 本所防災館 防災体験ツアー	東京消防庁 本所防災館	小学生親子	15 組 36 名



「刃物研ぎボランティア養成講座」



「東京消防庁 本所防災館 防災体験ツアー」

<研修・交流会>

開催日	講 座 名	内 容	参 加
10/12	交流会 「砂沼を歩こう会」	対 象：下妻ボランティア連絡協議会 会員 会 場：砂沼、福祉センター砂沼荘 主 催：下妻ボランティア連絡協議会	93 名
3/6	個人登録ボランティア・ いきいきサロン世話人 合同交流会	講 師：認知症予防音楽ケア体操指導士 須藤 純子 氏 対 象：個人登録ボランティア いきいきサロン世話人 会 場：福祉センター砂沼荘	20 名



下妻ボランティア連絡協議会「砂沼を歩こう会」

※ 砂沼の環境美化活動を兼ねた会員交流会を実施しました。

2. 福祉教育支援事業

市内小中学校において福祉教育を実施した他、小学校が主催する親子イベントにおいて、地域のボランティアの方々との交流や親子で共に学べる福祉教育を実施しました。

【市内小学校 9 校、中学校 1 校で実施】

種別	障害者・高齢者理解						地域共生・福祉理解			防災学習		計
	アイマスク	手話	点字	シニア体験	車いす	盲導犬	昔語り	講話	その他	マイ・タイムライン 作成	クオースコード ブーム	
実施件数	3	6	9	3	5	2	5	4	1	3	2	43 件
体験者数	117	207	295	180	221	52	319	128	36	428	86	2,069 人
V協力延数	11	42	49	26	37	2	5	-	-	7	-	179 人



「親子で考える！マイタイムライン作成」



「高齢者疑似体験」

3. 善意銀行

(1) 善意銀行

預託金	使途内容	件数	金額
寄付金	地域福祉のために	46 件	1,462,719 円
未使用切手	地域福祉のために	1 件	2,569円分
収入印紙	地域福祉のために	1 件	46,000円分

種 類	使途内容	預託件数
古切手	特定非営利活動法人日本国際ボランティアセンターへ寄付し、アジアやアフリカの医療従事者派遣に役立てられます	97件
書き損じハガキ	官製ハガキに交換し、ひとり暮らし高齢者へ絵手紙を届けます	19件
預託品 (未使用タオル、 大人用紙おむつ他)	必要としている事業所・施設、個人に提供し、役立てられます	43件
入れ歯	特定非営利活動法人日本入れ歯リサイクル協会を通じてリサイクルをし、得られた収益については下妻市の地域福祉活動に活用させていただくとともに、公益財団法人日本ユニセフ協会へ寄付されます	316 点

(2)フードバンク事業

- ・フードバンク事業周知のため、広報紙や SNS 等での広報啓発に努めました。
- ・地域貢献活動の一環として行われている企業のフードドライブ活動では、新たに(株)カスミ下妻ふるさつ店で開始され食品寄贈ボックスが設置されました。食品の回収においては市内障害者福祉サービス事業所に加え高齢者施設に協力をいただき、誰もが寄付をしやすい環境を整えました。

【寄付の状況】

寄 付		回 数
NPO法人 フードバンク茨城		2 回
(株)ダイナム		1 回
(株)カスミ 市内 4 店舗		70 回
(株)カスミ フードドライブ 市内 1 店舗 (令和 6 年 12 月設置)		3 回
ファミリーマート 市内 7 店舗 (ファミマフードドライブ)		64 回
きずな BOX	市役所本庁舎	15 回
	市立図書館	13 回
	下妻公民館	15 回
	大宝公民館	9 回
	千代川公民館	20 回
	福祉センター砂沼荘	10 回
	(株)TAIYO	10 回
	JA 常総ひかり下妻支店	9 回
	JA 常総ひかり下妻千代川支店	9 回

【配布先の状況】

配布先	件数・回数 (延べ)
個 人	304 件
市内児童福祉施設	14 回
市内児童養護施設	2 回
市内福祉サービス事業所	12 回
お茶 NOMA	15 回
生活応援セット	2 回



加ミ・ド・ライブ 受取り協力の事業所
小規模多機能型居宅介護サ・クラブ 様

4. 災害ボランティアセンター

- ・社協職員が迅速に災害ボランティアセンター運営を行えるよう、茨城県社会福祉協議会の指導の下「いばらき型災害ボランティアセンター運営システム (IVOS)」の操作研修を実施しました。
- ・発災時に備え、のぼり旗など資機材を購入し整備しました。
- ・小、中学校や地域において、災害ボランティアセンターの周知に努めました。



職員研修会



- ・被災地への職員派遣

災 害	派遣先	派遣職員
7 月（石川県）能登半島地震	輪島市災害ボランティアセンター	1 名

- ・研修等への職員参加

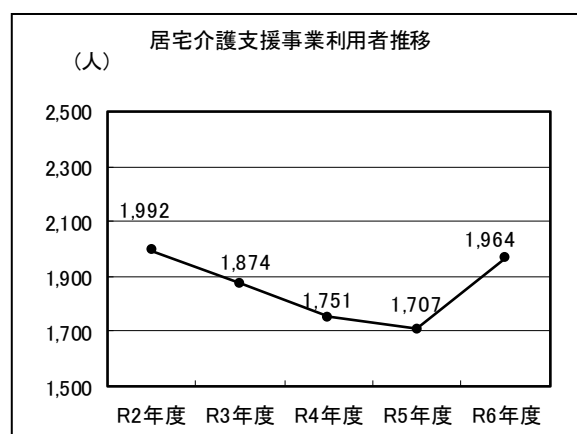
内 容	参加
下妻市水害対応避難訓練（6/1 小貝川洪水浸水想）	2 名
県社協主催 協働型災害ボランティアセンター運営セミナー	2 名
県社協主催 災害 VC 運営支援システム IVOS（アイボス）操作研修会	2 名
県社協主催 災害ボランティアセンター運営訓練	2 名
県社協主催 茨城県内社協職員災害初動期対応チーム メンバー養成研修	1 名
下妻市主催 サイボウズ株式会社 災害支援チームによる勉強会	4 名
県社協主催 茨城県内社協職員災害初動期対応チーム ステップアップ研修（I C T 編）	2 名
下妻市総合防災訓練（11/24 東部地区）	6 名
下妻市災害対策本部図上訓練（2/2 市庁舎）	2 名

【介護保険等事業】

1. 居宅介護支援事業・介護予防ケアマネジメント事業

- ・介護度に囚われず、積極的に受任件数を増やし業績改善に取り組みました。
- ・研修の機会を増やし、スキルアップを目的とした人材育成を進めました。
- ・多職種連携を念頭に質の高い支援を行いました。

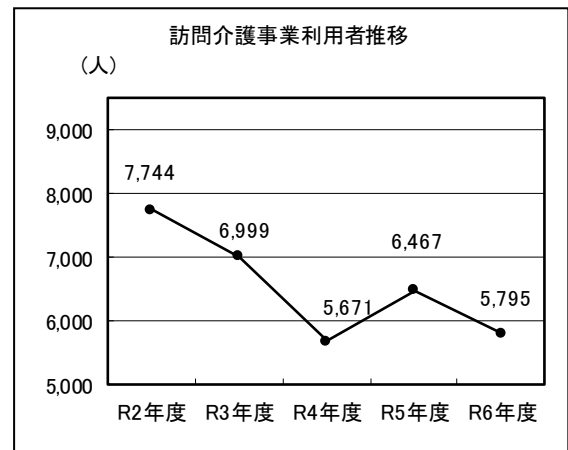
区分	延べ利用者
要支援 1	174 名
要支援 2	206 名
要介護 1	525 名
要介護 2	509 名
要介護 3	291 名
要介護 4	190 名
要介護 5	69 名
計	1,964 名



2. 訪問介護事業・介護予防訪問介護相当サービス事業

- ・稼働率を意識し対応したが、利用実績は減少となりました。
- ・腰痛予防対策の取り組みを行い、身体的な負担軽減を図りました。

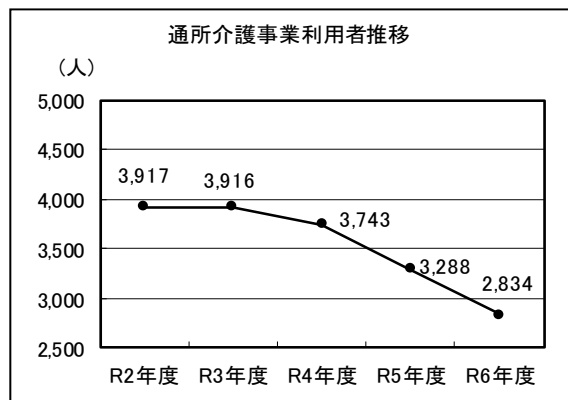
区分	延べ利用者
要支援 1	311 名
要支援 2	604 名
要介護 1	1,122 名
要介護 2	791 名
要介護 3	457 名
要介護 4	1,552 名
要介護 5	958 名
計	5,795 名



3. 地域密着型通所介護事業・介護予防通所介護相当サービス事業

- ・新規利用の伸びがなく、利用実績は更に減少となりました。
- ・ICTの活用を進め、簡素化を図り事務効率を高め業務負担を軽減しました。

区分	延べ利用者
要支援 1	55 名
要支援 2	36 名
要介護 1	1,222 名
要介護 2	672 名
要介護 3	611 名
要介護 4	216 名
要介護 5	22 名
計	2,834 名

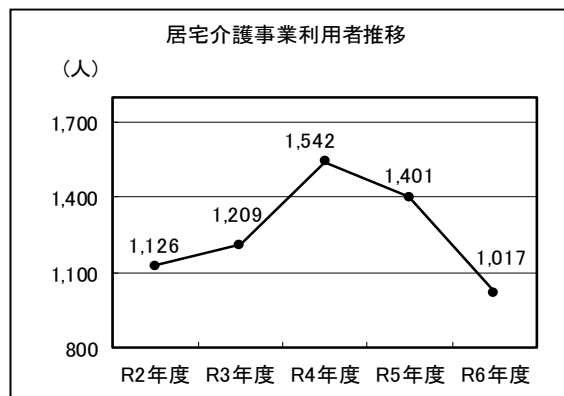


【障害者総合支援事業】

1. 居宅介護事業

- ・定期利用が減ったことで実績が減少しました。
- ・市内事業者との関係を深め連携を図り、個別ケアの支援を行いました。

区分	延べ利用者
区分 1	0 名
区分 2	0 名
区分 3	351 名
区分 4	265 名
区分 5	0 名
区分 6	401 名
児 童	0 名
計	1,017 名



2. 重度訪問介護事業・行動援護事業

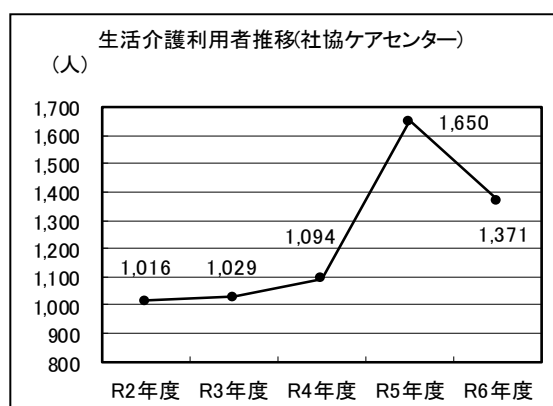
- ・両事業とも対象となるケースがなく、実績はありませんでした。

3. 生活介護事業

＜社協ケアセンター＞

- ・利用人数は変わらなかったが利用回数が減り実績は低下しました。
- ・個々のニーズに配慮した計画をたて支援にあたりました。

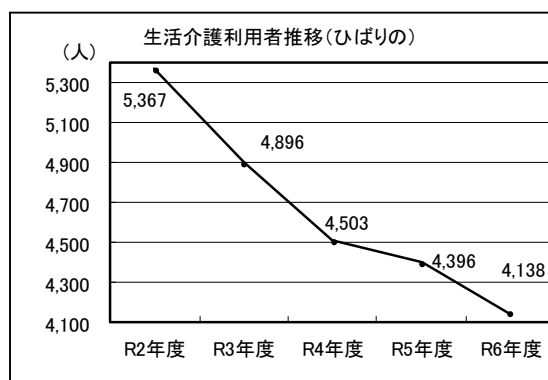
区分	延べ利用者
区分 1	0 名
区分 2	0 名
区分 3	572 名
区分 4	388 名
区分 5	0 名
区分 6	411 名
計	1,371 名



＜ひばりの＞

- ・6月に退所者1名あり年間利用が減少しました。
- ・3月下旬に事業所内でのコロナ感染拡大により利用が減少しました。

区分	延べ利用者
区分 1	0 名
区分 2	0 名
区分 3	198 名
区分 4	1,260 名
区分 5	1,459 名
区分 6	1,221 名
計	4,138 名



4. 相談支援事業

- ・令和6年7月1日付けで休止届を提出し、令和7年3月31日付けで廃止届を提出し事業廃止となりました。

5. 障害者日中一時支援事業

- ・特別支援学校等の長期休暇期間及び休日等に一時的預かりの実績はありませんでした。

※令和2年度から令和6年度間の実績はありません。